

【企画展 7】

本を読む ―近世岩国の人々と読書―

1. 概要

書籍が普及した江戸時代における人々と読書の関係や、実際に発行された書籍について当館所蔵の文書資料を中心に紹介

(担当学芸員：枝元 咲)

2. 会期

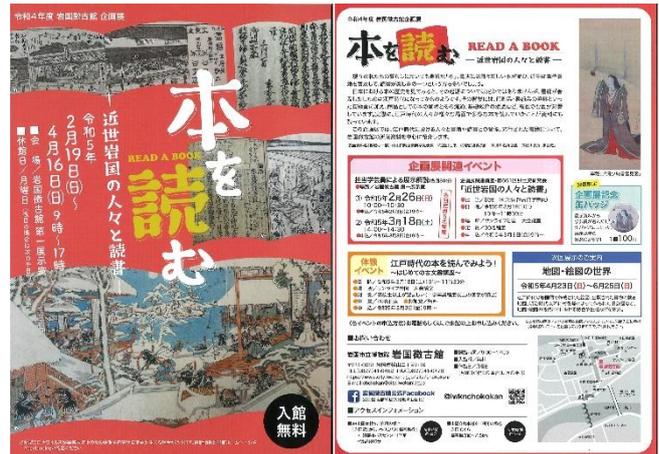
令和5年2月19日（日）～4月16日（日）

ただし、月曜日休館

3. 開館日数 35日（ただし、令和5年3月31日まで）

4. 入館者数 4,104人（ただし、令和5年3月31日まで）

5. 展示目録



No.	資料名	時代	所蔵
1. 本の広がりとその背景			
江戸時代以前の書物と人々			
1	前賢故実	江戸時代後期	
2	江談抄	江戸時代頃	
3	聚分韻略	江戸時代中期	
本を受容する人々			
4	元春公以下吉川什書目録	明治時代	
5	当家御条目御家中法度	享保8年	
6	御触出控 式	江戸時代末期頃	
7	稚六芸ノ内・書数（パネル）	江戸時代後期	東京都立図書館
8	庭訓往来	江戸時代中期	
9	商売往来	天保7年	
10	普救類方	享保14年	
本をとりまく技術の発展			
11	山口県巨豪商早見便覧	明治19年	
12	国史臆議	明治14年	
13	四書正文	安政2年	
14	清狂詩鈔	明治2年	
15	元寛日記	江戸時代中期頃	
16	撰津名所図会	寛政10年	
17	滑稽道中 宮島みやげ	嘉永4年	
18	諸役所仕法書	寛政9年頃	
19	岩国領絵図（部分）（パネル）	慶応3年頃	
2. 本の役割と読書の展開			
学習手段としての読書			
20	御用所日記	正徳元年	
21	御用所日記	宝暦4年	
22	日帳	嘉永7年	

	23	明儒学案	江戸時代末期頃	
	24	宇都宮遯菴像（部分）（パネル）	江戸時代中期	
	25	龍頭近思録	延宝6年	
	26	近思録	弘化3年	
	27	経典余師	天明元年	
	28	論語	江戸時代後期	
	29	教訓書 寺子・築山	江戸時代中頃	
	30	女大学宝箱	享和2年	
個人的読書の目的				
	31	医道日用綱目	安永9年	
	32	農業全書	元禄10年	
	33	柳井種痘日記	安政7年	
	34	信長記	元和8年	
	35	靖献遺言	元治元年	
	36	博物新編	元治元年	
	37	栗栖氏蔵書目録	明治23年	
	38	茅窓漫録	天保4年	
	39	新論	文政8年	
	40	新論	江戸時代後期頃	
	41	自画像図賛	明治14年	
	42	安政武鑑	安政7年	
	43	陰徳記之儀付伺書写	宝永3年	
	44	陰徳太平記	文政10年	
3. 読み継がれる文学				
	45	滑稽道中 宮島みやげ	嘉永4年	
	46	南総里見八犬伝	天保13年	
	47	源氏物語	江戸時代頃	
	48	源氏物語	承応3年	
	49	紫文製錦	文化4年頃	
	50	都名所図会	安永9年	
	51	百人一首	江戸時代	
	52	百人一首かるた	江戸時代	
	53	清少納言雪見図	弘化3年	
	54	絵本故事談	正徳4年	
	55	忠臣蔵	江戸時代末期頃	
	56	絵本和漢誉	嘉永3年	

※表記のない資料は、岩国徴古館もしくは岩国学校教育資料館蔵

6. 関連行事

(1) 関連講座（郷土史研究会として開催）

演題：「近世岩国の人々と読書」

講師：枝元 咲（当館学芸員）

日時：令和5年3月19日（日）10時～11時30分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：38人

(2) 担当学芸員による展示解説

日時：①令和5年2月26日（日）10時～10時30分

②令和5年3月18日（土）14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計14人

(3) 展示関連イベント「江戸時代の本を読んでみよう！～はじめての古文書講座」

日時：令和5年3月18日（土）10時～11時30分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：10人

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ「岸龍山／清少納言雪見図」 1個 100円



展示関係イベント「江戸時代の本を読んでみよう！～はじめての古文書講座」の様子